



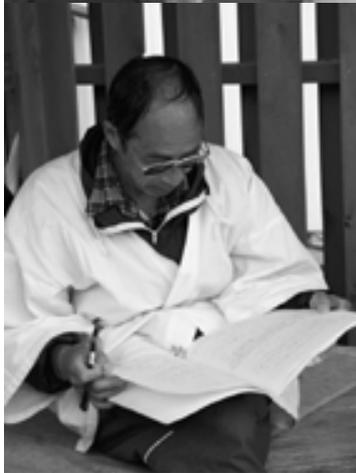
暖かくなり、お遍路さんが歩いてる姿を見かけるようになりました。先祖の供養や自分を見つめ直すために四国8ヶ所を巡る旅。今回は香我美町岸本の「ヘンロ小屋」を紹介します。

お遍路さんが心休まる場所を

岸本地区の旧道をお遍路さんたちが大きな荷物を担いで歩いていきます。三浦幸造さんは子どもたちからその姿を見続け、路上でお接待するなかで、お遍路さんたちに休んでもらう休憩所を作りたいという夢を膨らませていました。



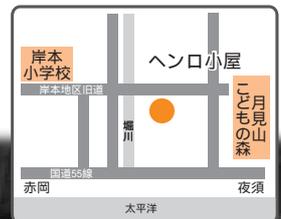
季節の花やお茶で歓迎



記帳ノートにメッセージを書き込むお遍路さん

五台山竹林寺で行われた

建築家歌一洋さんの「ヘンロ小屋」をボランティアで造る構想展」を見に行き、ヘンロ小屋建設を決意しました。建設には三浦さんが会長を務めるボランティア団体「本はたち会」の力がかかれました。資金や土地は、地元有志の協力がありました。地元有志の協力があって急ピッチで進み、ヘンロ小屋は平成16年5月に完成しました。無人のヘンロ小屋ですが、お遍路さんにくつろいでもらえるように毎朝掃除し、ク



ラーボックスにお茶の用意をしています。地域の人が季節の花を生けるなど、お遍路さんへの心遣いに、みんなの善意が溢れています。

一年に約千人が訪れるこのヘンロ小屋には記帳ノートが置かれています。ノート記帳第1号は名古屋からの松井さん。88ヶ所をまわるまでは自分一人の力で生きてきたと自負してい



みんなの協力のできたヘンロ小屋と三浦幸造さん

た松井さんは、ヘンロ小屋での接待で、自分がみんなの中で生かされていたことに気がついたと三浦さんに話されたそうです。「そんなドラマが詰まったノート。思いが伝わってきて元気が出る」と三浦さん。

訪れるお遍路さんは、気候のように高知の人はあたたかく、親切と話されます。四国8ヶ所を歩くことで人のやさしさに触れ、自分一人でできないことを再確認できるそうです。

今後、たくさんのお遍路さんが利用し、そして人の気持ちは集まってくるこのヘンロ小屋では、誰もがその温かさを感じることができるでしょう。

編集後記

香我美芸能大会、吹奏楽やチンドン、日本舞踊、ジャズダンスなど、プロ顔負けの演技を、楽しく観覧させていただき、とても得をした気分でした。中でも、冬のソナタ大好きのは、山北ハッピーズの「オレンジの妖精」に魅了されました。

(松)

合併して一年がたちました。19年度の広報編集委員会の目標は、「グレイドアツプ広報」です。市民の皆さんに楽しんでもらえる、興味を持ってもらえる話題や特集をつくっていきたく思います！最近、55号線沿いでお遍路さんを見かけます。気候の良い時期に歩かれる人が多いそうです。高知県内でもお遍路さん休憩所が増えてきています。ぜひ、歩いてみられては。(N) 校了後ノ春眠八更二暁ヲ覚エズです。(井)

ねむたいです...



《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.ig.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.ig.jp